



平成30年10月10日

各位

会社名 株式会社ポプラ
 代表者名 代表取締役社長 目黒 真司
 (コード番号 7601 東証第1部)
 問い合わせ先 執行役員経営企画室長 大竹 修
 (TEL 082-837-3510)

第2四半期累計期間業績予想と実績との差異に関するお知らせ

平成30年4月10日に公表しました業績予想につきまして、平成31年2月期第2四半期累計期間の実績との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成31年2月期第2四半期(累計)連結業績予想の修正(平成30年3月1日～平成30年8月31日)

	営業総収入	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	13,689	▲57	79	23	2.02
実績値 (B)	13,403	▲111	21	▲8	▲0.75
増減額 (B-A)	▲286	▲54	▲58	▲31	
増減率 (%)	▲2.0	—	▲73.4	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成30年2月期第2四半期)	14,887	▲130	9	83	7.89

2. 平成31年2月期第2四半期(累計)個別業績予想の修正(平成30年3月1日～平成30年8月31日)

	営業総収入	経常利益	四半期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	13,217	63	9	0.78
実績値 (B)	13,000	43	14	1.23
増減額 (B-A)	▲217	▲20	5	
増減率 (%)	▲1.6	▲31.7	55.5	
(ご参考) 前期実績 (平成28年2月期)	14,440	▲49	25	2.42

3. 差異の理由

第2四半期累計期間の個別業績に関しては、7月の西日本豪雨により5店舗の休業店舗が発生するなど、保険対応により純利益ベースでは大きな影響がなかったものの営業利益を落とす要因となりました。

売上は6月以降、加熱式たばこの本体の販売が一巡し、たばこの既存店売上前年比が95.7%と低迷したことやパン類の低迷から既存店の総売上前年比は97.7%にとどまったことから売上総粗利が減少いたしました。人件費ほか経費の削減に努めた結果、既存店ベースの利益は概ね計画どおりとなりました。

また、新規出店に関しては、上期計画33店舗に対し実績が24店舗と9店舗の遅れが生じました。

これらの結果、個別業績は上記の通りとなりました。

連結業績についても、西日本豪雨による物流の混乱や欠品、品薄の影響が当社子会社および持分連結会社へも

発生したことから、差異が生じる結果となりました。

なお、通期の業績につきましては、平成30年4月10日に公表しました業績予想からの変更はございませんが、今後の業績動向を踏まえ、業績予想を見直す必要が生じた場合は速やかに開示いたします。

以上